Tally PLUS





ターリー・セキュア・ウォレット株式会社



著作権情報

保証の否認

ターリー・セキュア・ウォレット株式会社は、このドキュメントの内容について明示または黙示 のいかなる保証または表明も行わないものとし、商品性または特定目的適合性に関する黙示の保 証について、あるいは間接損害、特別損害、結果損害について一切の責任を負わないものとしま す。

著作権情報

本書に記載している商標およびロゴはすべて各社の登録商標です。

ターリー・セキュア・ウォレット株式会社の書面による事前許可なしにこのドキュメントの一部 または全部を写真複製、録音などの方法/形態で、複製、検索システムへ保存、他へ転送するこ とを禁じます。また、ここに記載の情報の利用については、特許に関連する法的責務は想定して いません。ターリー・セキュア・ウォレット株式会社は細心の注意を払いこのドキュメントを準 備していますが、情報の誤りや欠落について、一切の責任を負わないものとします。このドキュ メントに記載されている内容と機能は予告なしに変更されることがあります。



内容

1	本書について	5
2	Tally PLUS の導入	5
	インストールを始める前に	5
	システム要件	5
	アプリケーションの関連付けについて	6
	インストール	8
3	Tally PLUS のアクティベーション	9
4	管理者アカウントとユーザーカウント	11
	概要	11
5	Tally PLUS の環境設定	. 11
	概要	. 11
	環境設定(基本設定)	12
	基本設定	. 14
	保存先の追加と編集	. 15
	ネットワークドライブ設定方法	. 16
	WebDAV 対応型オンラインストレージ設定方法	. 16
	モバイル機器(USB)設定方法	. 16
	モバイル機器(WiFi)設定方法	. 17
	保存先の決め方	21
	環境設定(対象設定)	22
	環境設定(セキュリティ)	22
	環境設定(USB リスト登録)	26
	環境設定(使用場所登録)	27
	環境設定(管理サーバ設定)	28
	設定情報の表示	28
6	Tally PLUS の操作履歴	29
7	ファイルの分割	30
	分割方法	30
8	ファイルの復元	30
	復元方法	30
9	ファイルのエクスポート	31
	エクスポート方法	31
10	ファイルのインポート	33
	インポート方法	33
11	プロパティ	34
	プロパティの閲覧	34
	管理者モード	34
12	Tally PLUS のバージョン情報	35



13 断片ファイルの処理	
仮割符の自動削除	
ショートカットの削除	
14 Tally PLUS のバージョンアップ・削除	
セットアップファイルを使用したバージョンアップ手順	
アップデータを使用したバージョンアップ手順	
プログラムを完全に削除する場合	
15 Tally PLUS の使用上の注意	



1本書について

この度は、Tally PLUS をご購入頂きまして誠にありがとうございます。本書は、Tally PLUS の使 用および操作に関するマニュアルです。製品に関してご不明な点などがありましたらサポート先 までご連絡下さい。

2 Tally PLUSの導入

インストールを始める前に

ご使用に必要となるファイルとシステム要件をご確認下さい。

- セットアップファイル
- マニュアル
- アクティベーションを行うためのライセンスキー

上記はお客様の責任で大切に保管頂きますようお願い致します。 初めて Tally PLUS を導入する場合は、Tally PLUS セットアップファイルをご使用下さい。

システム要件

インストール前に動作環境が次の要件を満たしていることをご確認下さい。

- サポートされる OS: Windows 7、Windows 8/8.1、Windows 10
- 必須モジュール: .NET Framework 4.5 以上がインストールされている必要があります。
 インストールされていない場合でも、インストールウィザードがインストールの有無を
 検出し自動的にインストールするように設計されています。
- CPU: 1GH z 以上
- メモリ:1GB 以上(32bit)、2GB 以上(64bit)
- ハードディスク:1GB 以上を推奨します。但し、ローカルマシンに断片ファイルを保存 する場合、そのデータ容量に応じてハードディスクの容量を増やす必要があります。

Tally PLUS のバージョンアップの際は、以前のバージョンのプログラムをアンインストール する必要があります。プログラムの削除に関しては後述の章をご覧下さい。



アプリケーションの関連付けについて

Tally PLUS で分割・復元するにあたり Windows のデフォルト設定では復元できない場合が あります。Windows のデフォルト設定では、例えば pdf ファイルは Microsoft Edge、jpg フ ァイルはフォト、ビデオは映画&テレビにそれぞれ関連付けされています。しかしながら、 このデフォルト設定のままでは、Tally PLUS がもとに戻したデータを開くために関連するア プリケーションが見つからないと言う旨のエラーが表示されます。



この現象を回避するには、当該ファイルに対してアプリケーションを関連付けし直す必要が あります。Tally PLUS をご使用になる前に、プログラム関連付けを設定しなおして下さい。 他のサードパーティ製のソフトでも構いません。

<設定変更が必要となるファイルタイプと推奨ソフト>

ファイルタイプ	推奨ソフト
PDF ファイル	Adobe Acrobat Reader DC
(拡張子: pdf)	
画像ファイル	IrfanView, QuickTime,
(拡張子: jpg、jpeg、png、gif、tiff 等)	ペイント(Windows 標準アプリ)
動画ファイル	GOM Player、QuickTime、
(拡張子: mpg、mp4 等)	Windows Media Player(Windows 標準アプリ)
音楽ファイル	QuickTime、
(拡張子:wav、mp3 等)	Windows Media Player(Windows 標準アプリ)
Zipファイル	Lhaplus

プログラム関連付けの設定方法(pdfを例に説明します)

 開きたいファイルを選択し、[右クリック]→[プログラムから開く]→[別のプログラム] を選択をします。





 下記画面がでますので Adobe Acrobat Reader を選択し、[常にこのアプリを使って.pdf ファイルを開く]にチェックを入れます。

このフ	このファイルを開く方法を選んでください。					
このアプリを今後も使う						
Of PDF を Web ブラウザーで 直接開きます。						
その代	ものオプション					
ト	Adobe Acrobat Reader DC					
9	Google Chrome					
w]	Word					
Ê	Microsoft Store でアプリを探す					
✓ 常にこのアプリを使って .pdf ファイルを開く						
ОК						

③ 下記のようにアイコンが変われば設定完了です。





インストール

Tally PLUS をコンピュータ (PC) にインストールします。コンピュータの管理者権限で Windows にログオンして下さい。

- セットアップファイルが入ったフォルダを開き、setup.exe (CD のアイコン)をダブル クリックします。
 setup.exe
- ② インストールウィザードが起動します。[次へ(N)]をクリックして下さい。
- ③ Tally PLUS のインストール先を指定します。現在表示されている場所(フォルダー)で 問題がなければ[次へ(N)]をクリックして下さい。インストール先フォルダを変更する には、[参照]ボタンをクリックし、フォルダを指定します。
- ④ インストールする準備が整いました。[次へ(N)]をクリックして下さい。
- ⑤ ライセンス条項をお読みになり、内容に同意頂きましたら、[次へ(N)]ボタンをクリック して下さい。[ユーザーアカウント制御]ポップアップが表示され、「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」が出た場合、[はい]をクリ ックします。
- ⑥ インストールの進捗を示す画面が表示されます。
 尚、インストール先のディスクの容量が足りない場合、その旨を通知するメッセージが表示されます。メッセージの指示に従って下さい。

ユーザーログイン情報の新規作成ウィンドウが表示されます。(このウィンドウは、イ ンストールウィザードの背面に隠れている場合があります。)任意のユーザーIDとパ スワードを入力してユーザー権限のログインアカウントを作成して下さい。お好きな任 意の文字列で構いません。また、パスワードは何度でも変更可能ですが、ID は一度設 定登録済となったものは、その後の変更はできませんのでお取扱いにご注意下さい。 (尚、Tally PLUS をバージョンアップする際、以前のバージョンをアンインストール時 に設定情報を削除しないとした場合、Tally PLUS の再インストールする際に画面は表 示されません。)

	ユーザーIDとパスワードを入力して下さい。 * 豊初に指定されたユーザーIDは変更出来ません。 ユーザーID パスワード パスワード (確認)
--	---



この時点で、ウィンドウ右上の×をクリックし、ユーザーを設定しないこともできま す。ユーザー設定しない場合は、サブメニューに[ユーザー設定]がメニューに追加され ます。

[ユーザー設定]を選択すると、ウィンドウが表示され、後からでもユーザー設定が行えます。

ユーザーID	
パスワード	
パスワード確認	

⑦ インストールは無事完了です。[閉じる]をクリックして下さい。

3 Tally PLUSのアクティベーション

インストールしたばかりの Tally PLUS のアイコンは、デスクトップ画面右下のタスクトレイ 上に置かれています。Tally PLUS を製品版として使用する場合は提供されたライセンスキー を Tally PLUS に入力して、製品のアクティベーションを行います。アクティベーションを行 わず、本製品を使用しようとした場合、ビューア(ファイルの復元のみ可能)として動作し ます。

Tally PLUS のアクティベーションは、下記の手順になります。

① Tally PLUS アイコンを右クリックします。



- [アクティベーション]をクリックします。
- ③ 購入された製品版ライセンスキーを[ライセンス No]フィールドに入力します。ハイフ ンはご入力下さい。



電話認証を行うため、認証で使用する電話番号を登録します。電話番号はハイフン無し でも構いません。

注:固定電話の電話番号も登録できますが、携帯電話またはスマートフォンの電話番号 をお勧めします。

インターネット接続があるお客様は[オンライン取得]チェックボックスを有効にし、 [アクティベーション]ボタンをクリックすると認証 No とアクティベーションコードが 生成・自動入力されます。

端末にインターネット接続がないお客様は[オンライン取得]チェックボックスを無効に し、ライセンスキーと電話番号を弊社までご連絡下さい。弊社より、アクティベーショ ンコードをお送り致します。ライセンスキー、電話番号、アクティベーションコード、 認証 No、電話番号を Tally PLUS ソフトのアクティベーションウィンドウに入力しま す。

社内のプロキシを使用される場合には「プロキシ使用」にチェックを入れ、プロキシの 認証に必要な情報を入力して下さい。

□ プロキシ使用 (チェックしない場合はシステムのプロキシ設定を使用します。)

構成ファイルをライセンスキーと同時にご依頼されたお客様は[オンライン取得]のみの 選択となります。

 ④ 次のメッセージが表示され、アクティベーションが行われます。この後、製品をご使用 になれます。



アクティベーション後は、プロキシ設定の部分は非表示になります。設定の閲覧または 編集は、環境設定の[管理サーバ設定]に入って下さい。



4 管理者アカウントとユーザーカウント

概要

Tally PLUS のログインアカウントには、管理者とユーザーの二種類があります。それぞれの アカウントでできる事は下記の通りです。

管理者	ユーザー
● 全環境設定(7章参照)	 ● 一部の環境設定
● 管理者アカウントの PW の変更	● ユーザーカウントの PW の変更
● ユーザーカウントの PW の変更	

管理者アカウントの ID/PW 初期値は購入時に同梱された文書または送付されたメール本文 内に記載されていますので、導入後に変更して下さい。また、ユーザーカウントの ID/PW は、 Tally PLUS のインストール時にお客様が設定されたものです。

5 Tally PLUSの環境設定

概要

Tally PLUS は、下記の各種設定が下記のタブから行えます。Tally PLUS の環境設定は、管理 者が行います。設定を行うには管理者用のログイン情報を使用して、設定画面にログインし ます。

事前にアクティベーションを行わないと、管理者でログインできません。管理者の方は必ず ログイン情報を変更して下さい。パスワードは何回でも変更が可能です。

ユーザーが設定内容を編集できる項目は、下記の通りです。

- 基本設定
- 対象設定
- セキュリティ
- USB リスト登録
- 使用場所登録
- 管理サーバ設定

ユーザーが設定内容を編集できる項目は、限られています。



環境設定(基本設定)

割符基本設定では割数や断片ファイルの保存場所を指定します。

 環境設定画面が開いていない場合、タスクトレイの Tally PLUS アイコンを右クリック します。

	*	<i>ſ</i> ġ				
		Q a				
•	×					
	^	io II	d× A	0	9:52 2017/03/10	C

- ② [環境設定]をクリックします。
- ③ 設定を行うには、管理者アカウントでログインします。インストール時に設定したユー ザーID とパスワードはユーザーであり、管理者ではありませんので設定変更できません。ログイン画面は毎回表示されます。

ユーザーID とパスワードを入力し、Enter キーを押します。ユーザーID とパスワード が正しければ、次に電話番号認証を行います。電話番号が画面下部に表示されます。ア クティベーション時に登録した電話番号の電話機から、画面に表示された番号へおかけ 下さい。QR コードをスマートフォンのカメラで撮影すると電話番号が取得できますの で、そのままタッチして電話を掛けることもできます。

- 注:通話料は発生しません。
- 注:携帯電話等で、非通知設定にしている場合は認証されませんので、設定を解除して 下さい。

画面下部に青色のバーがあります。時間が経つにつれ濃い青色のバーが短くなります が、これが無くなるまでに電話をおかけ下さい。電話認証が規定時間内に行われなかっ た場合は、下記のメッセージが表示されますので、再度行って下さい。



端末がオフラインの場合、ログイン画面上には QR コードが表示されます。その場合 は、スマートフォンでその QR コード部分を撮影します。撮影は、アクティベーション



にて登録した電話番号を持つ電話機を使用して下さい。アクセス先 URL の通知が表示 されますので、その URL にアクセスし、表示された電話番号をタップして、電話をか けます。8 桁の認証コードが表示されます。そのコードを Tally PLUS ソフトのログイ ン画面に入力し、認証を行います。これで、電話認証が完了します。

④ 環境設定(使用場所登録)が有効になっている場合、設定場所と端末の場所の判定が自動 的に行われます。この位置情報認証が成功した場合は環境設定画面が表示されます。もし、この位置情報認証時に端末が範囲内に無い場合、ウィンドウが表示されます。



スマートフォンで位置 情報を認証する。 位置情報を更新する。

ウィンドウ右上には二つのアイコンが表示されます。

[位置情報を更新する。]をクリックすると、端末の位置情報を再度取得します。更新す ることにより、より正確な位置情報を取得し、位置情報認証が行える場合があります。 その場合、ユーザーID やパスワードを入力するフィールドがアクティブになり、ログ インができるようになります。

[スマートフォンで位置情報を認証する。]をクリックすると、下記のような QR コード が表示されます。QR コードをスマートフォンのカメラで読み込ませます。ウィンドウ 下部に青色のバーがあります。時間が経つにつれ濃い青色のバーが短くなりますが、こ れが無くなるまでに行って下さい。



スマートフォンに表示された画面で、[OK]ボタンをタップします。

スマートフォンからその位置情報が Tally PLUS へ送信されます。スマートフォンが指 定場所内にあれば、位置情報認証が行えます。その場合、ユーザーID やパスワードを 入力するフィールドがアクティブになり、ログインができるようになります。もし、位 置情報が確認できない場合、下記ウィンドウが表示されます。





この機能により、指定場所でしかファイルを復元できなくなります。設定した場所の指 定範囲内に端末(又はスマートフォン)がなければ、認証は成功せず復元は行われませ ん。尚、セッションがタイムアウトしていない場合は、位置情報認証は無視されます。 端末の位置情報サービスが無効になっている場合は、本機能は利用できません。

ワンタイムパスワード認証を有効にしている場合は、下記の手順になります。

- ① Tally PLUS のログイン時に、ユーザーID/パスワードを入力します。
- ② [認証システムの6桁の数字入力]の欄が表示されますので、iOS端末の場合は「Google Authenticator」アプリを、Android端末の場合は「Google 認証システム」アプリを起動 し、アプリ上に表示された6桁の番号をその欄に入力します。
- ③ 認証が成功すると、ログインできます。
- ④ 認証が完了しましたら、環境設定画面が表示されます。環境設定画面では、左の列から [基本設定]を選択します。

基本設定

- 割数:ファイルを断片に分割する数です。[2]を選択すると2個の断片ファイルに 分割します。割数は2~5個まで選択できます。
- 復元オプション:割数に応じて表示される復元オプションが変わります。復元に全ての断片ファイルが必要か、一部無くても復元できるようにするのか選択します。
- 最小ファイルを保存先1に保存:1つの断片ファイルを元ファイルの千分の一の容量にし、その他の断片ファイルは均等割にしたい場合「最小ファイルを保存先1に保存」にチェックを入れます。チェックがない場合は、データを均等に分割します。
- 割符ファイル保存先: 断片ファイルを保存する場所です。設定した割数の数分指定 する必要があります。



保存先の追加と編集

画面中央に配置された緑地に白抜き文字が入った[保存先の追加と編集]ボタンをクリッ クすると下記画面に移動します。この画面で保存場所を作成する必要があります。この 画面で保存先の追加・削除・編集が可能です。

- 新規作成:断片ファイルの保存場所を新規作成します。[表示名]には画面上に表示 する名前を入力し、[保存場所形式]を下記ドロップダウンメニューより選択した後、 必要な追加情報を入力します。
 - ローカル HDD: ローカルドライブとして認識されているドライブ(通常、Cド ライブ)に断片ファイルを保存します。
 - 外付け HDD (USB):外部媒体として接続されている USB に断片ファイルを 保存します。
 - ネットワークドライブ:接続しているローカルネットワーク上のリモートフォ ルダに断片ファイルを保存します。
 - FTP: FTP サイトに断片ファイルを保存します。
 - WebDAV: WebDAV サイトに断片ファイルを保存します。
 - FUJITSU Cloud Service for OSS:FUJITSU クラウドストレージに断片ファイル を保存します。
 - Amazon S3: Amazon S3 クラウドストレージに断片ファイルを保存します。
 - Microsoft Azure ストレージ: Microsoft Azure クラウドストレージに断片ファ イルを保存します。
 - IBM クラウドストレージ: IBM クラウドストレージに断片ファイルを保存します。
 - モバイル機器(USB): USB ケーブルで接続したモバイル機器(例: スマホ、タ ブレット)に断片ファイルを保存します。
 - モバイル機器(Wi-Fi): Wi-Fi で接続したモバイル機器(例:スマホ、タブレット)に断片ファイルを保存します
- 保存:上記の項目を入力した後このボタンをクリックします。尚、既存の保存場所 を編集する場合、左側のリストから目的の項目を選び右側に表示された情報を修正 します。修正が完了しましたら[保存]をクリックします。
- 削除:既存の保存場所を削除します。既定の保存場所である、No.01 のローカル
 HDD、No.02 の外付け HDD は削除できません。
- 注: FUJITSU Cloud Service、Amazon S3、Microsoft Azure、IBM クラウドの設定方法 は、当該クラウドサービスの利用条件や契約内容に従い、設定して下さい。

設定が完了したら、画面右上の×をクリックして画面を閉じます。



ネットワークドライブ設定方法

断片ファイルの保存先としてネットワークフォルダを指定する場合は、保存場所形式に [ネットワークドライブ]を選択します。

- ネットワークを選択(入力)して下さい: リモートフォルダ(ネットワークフォルダ)
 のフルパスを直接入力するか、[参照]ボタンをクリックして、保存先ネットワークフォルダを指定します。
- ネットワークユーザー: そのフォルダにアクセスするユーザーを Domain/user の 形式で入力します。入力はオプションです(フォルダの管理者に確認願います)。
- ネットワークパスワード:そのフォルダにアクセスするパスワードを入力します。
 入力はオプションです(フォルダの管理者に確認願います)。
- 接続テスト:指定したフォルダにこのコンピュータからアクセス可能かをテストします。タイミングによって NG になる場合があります。その場合には再度接続テストを行って下さい。

WebDAV 対応型オンラインストレージ設定方法

WebDAV 対応型オンラインストレージを保存先に設定する場合は、保存場所形式に [WebDAV]を選択します。例えば、オンラインストレージサービス「4shared」上に断 片ファイルを保存したい場合、WebDAV URL には、

「 https://webdav.4shared.com/ 」と入力し、サーバログインユーザー及びサーバロ グインパスワードにはログイン情報を入力します。

注:サードパーティのオンラインストレージを使う際は、そのオンラインストレージ サービスプロバイダの利用条件に従って下さい。

モバイル機器 (USB) 設定方法

モバイル機器を USB ケーブルで使用する場合、下記の点にご注意下さい。

- モバイル機器と PC を接続する時は、データ通信用 USB ケーブルをお使い下さい。この 場合、充電のみを行うケーブルをお使いになった場合、PC 側で当該モバイル機器を認 識しませんので、必ずデータ通信ができる USB ケーブルをお使い下さい。
- モバイル機器の電源が切れていたり、スリープ状態の場合は、PC 側で当該モバイル機器を認識しませんので、スリープ状態を解除して下さい。
- Android 端末のみサポートされます(Android 4.4 以上)。iOS 端末、Windows Phone は サポートされません。
- モバイル端末を外部ストレージとして認識するには、PC 側でドライバをインストール する必要があります。初回接続時に、ドライバのインストールが行われますので、完了 するまでお待ち下さい。
- Android 端末を PC と USB 接続すると「USB 接続の用途」を確認する画面が表示され ます。最初は[この機器を充電する]になっていますので[ファイルを転送する]に変更し



て下さい。これにより PC から Android 端末内のファイルが見えるようになります。

- [モバイルデバイス]ドロップダウンメニューには、モバイル機器の一覧が表示されます。 保存先とするモバイル機器を選択し、[保存]ボタンをクリックして下さい。[保存エリア] には、モバイル機器の本体メモリ内に断片ファイルを保存するか、SD カード内に保存 するかを選択します。
- タイミングによっては接続テスト NG になる場合があります。その場合には、再度[接続テスト]をやり直しして下さい。

モバイル機器(WiFi)設定方法

[モバイル機器(Wi-Fi)]を選択した場合、下記の手順を行います。

<接続環境上の注意事項>

- Wi-Fiでモバイル機器(Android 端末、iOS 端末)を接続する場合、PC とモバイル機器とが同一のネットワーク(SSID)上になければなりません。
- Wi-Fi 環境がない場合、Windows10 モバイルホットスポット機能を利用して PC と 接続することができます。

<モバイルホットスポット設定方法>

Windows10 PC の設定「ネットワークとインターネット」にて①モバイルホットスポ ットを有効にし、②表示されたネットワーク名とパスワードをモバイル機器に設定して を接続して下さい。(下図参照)



iOS 端末の場合

スマートフォン側でファイルサーバアプリをダウンロード、インストールします。iOS 端末 で App Store にアクセスします。



1 「FE File Explorer」アプリを検索し、インストールします。

<complex-block></complex-block>	Q File Ex	kplor	er	0	キャン	セル		
	FE	FE File 仕事効¤ ★★★	e Explorer: File I 率化 ★☆ 812	Van	M	<		
	al Patrone Pro	11 +	Correr T 2.52 FM Correr Filedingsbarrer Proc	+	Lative New Corevection	Date		
Image: Section and Sec	0.000		C Local		100	Δ		
	Dimilary		C Marolikeer		and the second	1000		
	· marked		* Bared		0	1772		
	Chui bie		Sout Ine		tra tanin.	PERMIT		
	R Marty Of Dentes		 and the resident 		DW	æ		
Image: Section of the section of t	Committee of the local division of the local		Annual Contractor	Lands hill	0.0			
•••••••••••••••••••••••••••••	III Office Computer		til menti		45	-		
	III Initia PC		O Restation for	×	-	-		
	O Stears Mediate fre		A ot server					
	∆ or anyon		() Terminate	DOK				
Image: Contract of the second of the sec	· Terecapour		E matutor					
C E File Explorer Pro	E EMOLOGY							
FE File Explorer Pro	0 0	0	0 00				これをインスト	ール
FE File Explorer Pro L-F-f U F-f ****** 1/200 ****** 1/200								
		EE Eile	Explorer Pro					
	CC							
		1-7	イリティ		¥6	00		
Non Non Non Non Non Non Imagende Imagende Imagende Imagende Imagende Imagende I		***	★★ 1.230					
Attach Loss Loss <thloss< th=""> Loss Loss <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><th></th><td></td></t<></thloss<>								
10 Markaner V 1 1 Markaner V 1 0 mail 1 1 1 Markaner V 0 markaner V 1 1 1 0 1 1 1 1 0 1 1 1 1 0 1 1 1 1 0 1 1 1 1 0 1		4 101 101 1	Lane T Ellere	-	11170	100.0		
order 0 0 0 0 in strate 0 0 0 0	101 Fieligtorar Pro	а÷	6.01 FileDapkower Pro	*	New Conception	Dave		
Image: Non-State y Image: Non-State y Image: Non-State y Image: Non-State y <td>Q usual</td> <td></td> <td>Tal Local</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>Δ</td> <th></th> <td></td>	Q usual		Tal Local	0	12	Δ		
Image: Starting and Startin	C Postary		D Hero Liney		and so its so	Lines.		
Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Image: Note Note Note Image: Note Note Image: Note Note	· Bared		T Bared		0	1772		
Image: Section and the sectio	Chud Drive		e deut troe	100	Free Canada	WELLER.		
Image: Second	R. Nearby 00 Denias		a many contractor		1001	(Th)		
Image: Model Stream Image: Model Stream Imag	Transformed Inc.		A CONTRACTOR OF	A Transmission	Der.	CHD .		
Image: Constraint of the second of the se	III Office Consume		Carlos Corquie			-		
Constraints Any Constraints Const	I Harris PC		0	~	-			
A states Concentration Concentratio	O Devera Machael As			United	Sumple Other			
	A 01-300/08		() transmit	рак				
	Teresdande		E TIND OT					
	C 1140.007							
	0 0	0	0 0	D				

② iOSの[設定]→[一般]→[情報]を選択します。Wi-Fiアドレスをメモに取ります。

く一般	青報	
バージョン	12.1 (16B92)	
キャリア	ドコモ 34.0	
モデル	MQC22J/A	
シリアル番号	FK1W1766JCLD	
Wi-Fiアドレス		そのままメモ
Bluetooth		
IMEI	35 674008 663315 4	
ICCID	8981100055440131767	
MEID	35674008663315	
モデムファームウェア	3.11.00	
SEID	>	

③ Tally PLUS の環境設定で、[割符基本設定]→[保存先の追加と編集]を選択します。[新規 作成]ボタンをクリックし、[保存場所形式]で[モバイル機器(Wi-Fi)]を選択します。



- ④ [MAC アドレス]には②の値を入力します。[ポート]には 21 を入力します。
- ⑤ 「FE File Explorer」アプリを起動・画面に表示したままの状態にします。接続時には、 画面に表示したままの状態を保って下さい。
- ⑥ Tally PLUS の環境設定で、[接続テスト]ボタンをクリックし、iOS 端末との接続テスト を行います。成功すれば接続が OK となります。タイミングにより失敗することがあり ますが、その場合は再度接続テストを実施してみて下さい。

Android 端末の場合

スマートフォン側でファイルサーバアプリをダウンロード、インストールします。Android 端 末で Play ストアにアクセスします。

← ftp server	Ŷ			
Ftp Server The Olive Tree ₪ 4.2 ★ (8,128 ▲) + 100万 ±				
A CARLES AND A CAR	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •			
Ftp Server				
アンインストール 広告が	開く が表示されます	▼	これをイ	インストール
Ftp Server Pro The Olive Tree ⊡ 4.5 * (692 ♣) • 1万 ₺				
Image: set of the set of th				
Etn Sonjor Bro				

① 「Ftp server」アプリを検索し、インストールします。

 「Ftp server」アプリを起動し、画面に表示された「ftp://[IP アドレス]:[ポート番号]」 からポート番号をメモに取ります。



③ Android 端末で、[設定]→[Wi-Fi]を選択し、画面右上の三点をタップします。[詳細設 定]をタップします。MAC アドレスをメモに取ります。

0. U	~	₩ * 🖘 🕯 🖤	11:48		
÷	Wi-Fi設定		۹		
	スリープ時のW 充電時は接続を維	'i-Fi接続 持する			
	証明書のインス	トール			
	ネットワーク評 _{Google}	価プロバイダー			
	Wi-Fi Direct				
	WPSプッシュホ	ドタン			
	WPS PIN入力				
	MACアドレス	•		そのま	まメモ
	IPアドレス				

- ④ Tally PLUS の環境設定で、[基本設定]→[保存先の追加と編集]を選択します。[新規作 成]ボタンをクリックし、[保存場所形式]で[モバイル機器(Wi-Fi)]を選択します。
- ⑤ [MAC アドレス]には③の値を入力します。[ポート]には②を入力します。
- ⑥ Tally PLUS の環境設定で、[接続テスト]ボタンをクリックし、Android 端末との接続テ

C

Tally Secure Walle



ストを行います。成功すれば接続できる状態となります。タイミングにより失敗するこ とがありますが、その場合は再度接続テストを実施してみて下さい。

注:モバイル端末側のアプリケーションは、Tally PLUS を利用するたびに起動した方が安定 動作します。利用しない時はモバイル機器側のアプリケーションを停止しておくことを お勧めします。

保存先の決め方

<ケース1>

ノート PC、USB、ネットワーク上のファイルサーバに3分割し、断片ファイルが一つ欠けて もファイルが復元できるようにしたい。ファイルを上書きしてもファイルを増やしたくない。

ネットワーク構成図	設定例
スタド ケーク (時)(人区)	 ax EM 割数を[3]にし、復元オプションを[割符したファイ ルが 1 個なくても復元できるように割る]を選択し ます。 保存先 1 に[ローカル HDD] 保存先 2 に[USB] 保存先 3 に[ネットワークドライブ] を設定します。

<ケース2>

異なる二つのオンラインストレージを使用する場合。

 	ネットワーク構成図	設定例
(保存先1に[オンラインストレージ1] 保存先2に[オンラインストレージ2] を設定します。	ネットリーク構成図	設定例 割数を[2]にし、復元オプションを[割符した全ての ファイルが揃わないと復元できないように割る]を 選択します。 保存先1に[オンラインストレージ1] 保存先2に[オンラインストレージ2] を設定します。



環境設定(対象設定)

割符対象設定では秘密分散処理を行うワーキングフォルダやファイルタイプを指定します。 環境設定画面が開いていない場合、タスクトレイの Tally PLUS アイコンを右クリックしま す。ワーキングフォルダは複数作成でき、それぞれのフォルダに個別に拡張子やサブフォル ダ設定を指定できます。

- 割符対象設定リスト:秘密分散処理を行うフォルダのリストです。このリストにあるフ ォルダにファイルが置かれると自動的に分割されます。
- 編集:既存の設定を編集します。
- 追加:秘密分散処理を行う作業フォルダを新規作成するための下記ウィンドウが表示されます。作成した作業フォルダはリストに追加されます。
- 削除:既存の設定を削除します。
- [追加]ボタンをクリックすると、専用画面が表示されます。ファイルをその中に入れる と秘密分散処理されるワーキングフォルダ(割符対象フォルダ)を[参照]ボタンをクリッ クして指定します。次に、秘密分散処理する対象のファイルのタイプをクリックします。 これ以外のファイルは、割符対象フォルダに入れても秘密分散処理されません。
 - 割符対象フォルダ:秘密分散処理を行う作業フォルダを指定するには参照ボタンを クリックします。このフォルダにファイルをドロップすると自動的に秘密分散処理 されます。
 - サブフォルダも割符対象にする:ファイルではなく、フォルダを作業フォルダにドロップした時に、そのフォルダ内のファイルも秘密分散処理するかどうかを指定します。
 - 割符対象ファイル:秘密分散処理するファイルタイプを指定します。選択したファ イルタイプのみ分割します。また[ユーザー定義]にチェックを入れ、その下のフィ ールドに拡張子を入れると、その拡張子を持つファイルタイプも対象となります。 複数あればスラッシュ(/)で拡張子を区切って下さい。大文字と小文字は区別され ません。
 - 保存:設定を保存します。
 - キャンセル:設定を削除して、元の画面に戻ります。

② [保存]ボタンをクリックします。

環境設定(セキュリティ)

セキュリティでは、ユーザーや管理者のログインアカウントとファイルの復元パスワードを 指定します。



環境設定画面が開いていない場合、タスクトレイの Tally PLUS アイコンを右クリックしま す。左の列から[セキュリティ]タブを選択します。設定が終わりましたら[割符設定保存]ボ タンをクリックします。

- 2ファクター認証設定: [電話認証]を選択すると、Tally PLUS にログインする時に ID/パスワードに加え、電話での認証方式も使用します。[ワンタイムパスワード認 証]を選択すると、Tally PLUS にログインする時に ID/パスワードに加え、ワンタ イムパスワードも使用します。いずれかを必ず選択して下さい。
 電話認証での実際の認証方法は、第5章の「環境設定(基本設定)」をご覧下さい。
 ワンタイムパスワード認証での実際の認証方法は、下記をご覧下さい。電話番号が 変更になった場合、設定が[ワンタイムパスワード認証]から[電話認証]に強制的に 変わります。
- 他の PC でも閲覧可能にする:他の端末が断片ファイルを使用して原本を復元できるようにします。ただし、復元に必要な最低限のファイルにアクセスできることが条件になります。
- 割る時にパスワード使用:ファイルを復元する時にパスワードを設定したい場合に チェックを入れます。
- 割符ユーザー設定:ユーザーID、パスワード(マスキング済)が表示されます。ユー ザーID は変更できませんが、パスワードは変更可能です。
- ログイン・仮割符セッションタイムアウト:アイドル状態(Tally PLUS で何も処理 を行わない状態)が指定時間以上経過すると再度ログインを求めるよう設定できま す。また、分割した後このフィールドに設定した時間内であれば、仮割符した状態 からファイルを復元できます。この時間が経過してしまうと、仮割符された状態か らのファイルの復元ができなくなります。
- 管理者設定: ユーザーID、パスワード(マスキング済)が表示されます。ユーザーID は変更できませんが、パスワードは変更可能です。

ワンタイムパスワード認証の設定方法

[ワンタイムパスワード認証]を選択した場合、下記の手順を行います。インターネットに接続していない場合でも使用可能です。

iOS 端末の場合

- スマートフォン側で認証用アプリをダウンロード、インストールします。iOS 端末で App Store にアクセスします。
- ② 「Google Authenticator」アプリを検索し、ダウンロードします。
- ③ Tally PLUS の[環境設定]画面を開き、[セキュリティ]タブを選択します。
- ④ [2ファクター認証設定]で、[ワンタイムパスワード認証]を選択します。
- ⑤ iOS 端末にて「Google Authenticator」を起動します。[設定を開始]をタップします。



Ģ

Tally Secure Wallet

⑥ [バーコードをスキャン]をタップします。



⑦ 「"Authenticator"がカメラへのアクセスを求めています」にて、[OK]をタップします。



- ⑧ Tally PLUS 画面に表示された QR コードを iOS 端末のカメラで撮影します。
- ⑨ ワンタイムパスワードが iOS 端末上に表示されます。
- ① Tally PLUS の環境設定画面に表示された QR コードの右隣の[検証コード]欄に、この6 桁の番号を入力します。30 秒でパスワードが変わるため、⑨~⑩を 30 秒の間に完了さ せる必要があります。
 尚、[検証]ボタンを押す前までは、画面右下の[割符設定保存]ボタンは無効になってい ますが、一旦検証が行われればボタンは有効になり、設定を保存できます。
- 11 これで、ワンタイムパスワード認証の設定が完了します。

Android 端末の場合

- スマートフォン側で認証用アプリをダウンロード、インストールします。Android 端末 で Play ストアにアクセスします。
- 「Google 認証システム」アプリを検索し、ダウンロードします。本アプリがカメラにア クセスすることを許可して下さい。
- ③ Tally PLUS の[環境設定]画面を開き、[セキュリティ]タブを選択します。
- ④ [2ファクター認証設定]で、[ワンタイムパスワード認証]を選択します。
- ⑤ Android 端末にて「Google 認証システム」を起動します。[開始]をタップします。

🔠 🔄 Q 🕅 🚔 Q Q 🛠 iDi 🗢 🖬 90% 🗎 19:11
1
C
お使いの Google アカウント(や他のアカウン
ト)で2段階認証プロセスを有効にすると、次の 情報が必要になります。
1月報/小心/安になります。
0 バスワード
🔒 このアプリが生成するコード
開始

Ģ

⑥ [バーコードをスキャン]をタップします。



- ⑦ Tally PLUS 画面に表示された QR コードを Android 端末のカメラで撮影します。
- ⑧ ワンタイムパスワードが表示されます。
- ⑦ Tally PLUS の環境設定画面に表示された QR コードの右隣の[検証コード]欄に、この6 桁の番号を入力します。30 秒でパスワードが変わるため、⑨~⑩を 30 秒の間に完了させる必要があります。
 尚、[検証]ボタンを押す前までは、画面右下の[割符設定保存]ボタンは無効になっていますが、一旦検証が行われればボタンは有効になり、設定を保存できます。
- ⑩ これで、ワンタイムパスワード認証の設定が完了します。

環境設定(USB リスト登録)

USB リスト登録では Tally PLUS で利用する USB を登録します。登録した USB は、分割・ 復元時に必ず PC に接続して下さい。環境設定画面が開いていない場合、タスクトレイの Tally PLUS アイコンを右クリックします。



環境設定画面が表示されましたら左の列から[USB リスト登録]を選択します。設定が終わり ましたら[設定保存]ボタンをクリックします。

- 登録 USB のみ使用: Tally PLUS で利用する USB を登録し、これ以外の USB は断片フ ァイルの保存先として使えなくするようにしたい場合にチェックを入れます。
- USB 情報取得: USB を接続しボタンをクリックすると USB の情報が表示されます。
- Tally PLUS 用 USB 登録リスト:登録されている USB が表示されます。USB を接続す るとその USB のモデル名、容量、シリアル番号が表示されます。
- リスト追加:選択した USB が Tally PLUS 用 USB 登録リストに登録されます。
- 削除: 選択した USB を Tally PLUS 用 USB 登録リストから削除します。

環境設定(使用場所登録)

使用場所登録設定では Tally PLUS の使用場所を登録し、その場所範囲内でしかファイルを復 元できないようにします。Tally PLUS は Wi-Fi や GPS で位置情報を取得します。有線 LAN では正しい位置情報を取得できない可能性があります。

- 登録場所でのみ復元を許可する:使用場所登録を有効にします。
- 登録場所から半径○○○メートル内で可能:使用可能となる半径距離を指定します。
- 登録場所リスト:作成した登録場所が表示されます。
- 編集: 既存の登録場所を編集します。
- 追加:新規の登録場所を作成します。
- 削除:既存の登録場所を削除します。

[追加]ボタンを押すと、下記のウィンドウが表示されます。

12 使用場所指定	-		\sim
			\sim
住所(郵便番号)検索又は地図をマウスでダブルクリックして下さい。			
	から検索		
Dubino E		200	meters
 Jonutal 	© 2018 Microsoft Corpo	ration © 20	18 HERE
場所名	ОК	キャンセノ	ł



住所(一部でも可)を入力し、[住所から検索]ボタンをクリックすると、入力した場所が地図中 央に表示されます。[場所名]に任意の名前を入力し、[OK]ボタンをクリックすると、この場 所を設定できます。又、地図上の任意の場所をダブルクリックすると、その位置が設定され ます。



環境設定(管理サーバ設定)

管理サーバ設定では Tally PLUS のログファイルや設定情報を管理サーバに保存するかどう かを指定します。Tally PLUS のユーザーが行った操作ログをローカルマシンだけでなく、管 理サーバに同時保存することで管理者が閲覧できます。

- 管理サーバ使用する: [参照]ボタンをクリックして指定するか、直接パスを入力し、Tally PLUS のログを保存する先の管理サーバを指定します。
- ネットワークユーザー:管理サーバとするネットワークフォルダのユーザーID を指定 します。
- ネットワークパスワード:管理サーバとするネットワークフォルダのユーザーID を指定します。
- プロキシ使用: インターネットに接続する際に社内のプロキシを使用する場合は「プロ キシ使用」にチェックを入れて必要な情報を入力して下さい。

設定情報の表示

現在の Tally PLUS の設定情報を閲覧できます。

- ① 画面上の何もない領域を右クリックし、[設定情報]をクリックします。
- ② 現在の設定環境で、ファイルの復元に最低限必要な保存場所にアクセスできる状態で あれば、割符可能と表示されます。保存場所にアクセスできない状態であれば、仮割 符と赤字で表示されます。また、現在の設定も表示されます。
- ③ ウィンドウを閉じるには、ウィンドウ右上の×をクリックします。

6 Tally PLUSの操作履歴

Tally PLUS で分割した処理内容の情報を履歴として表示します。

① タスクトレイの Tally PLUS アイコンを右クリックします。



- ② [履歴]をクリックします。
- ③ ユーザーカウント、又は、管理者アカウントでログインします。
- ④ 履歴画面が表示されます。

画面上部のラジオボタンで選択した範囲での秘密分散処理の履歴をリストに表示しま す。目的の表示範囲をラジオボタンで選択するか[指定日]を選択した場合は、隣のカレ ンダーで目的の日付を選択します。

下段のリストには、その範囲での実行ユーザー名、分割日時、処理内容、分割したファ イルのパスが表示されます。

また、実行されたアクションとして、【割符】【仮割符】【割符ファイル削除】 【Tally PLUS ファイル上書き保存】【Tally PLUS ファイル移動】【割符ファイル名変 更】【名前付けて保存】【Tally PLUS ファイル開く】【Tally PLUS ファイルエクスポ ート】【割符ファイルインポート】があり、履歴に記録されます。



【割符】は、設定した保存場所すべてに正常に断片ファイルが保存された場合に表示さ れます。

【仮割符】とは、設定した保存場所がアクセス不能な場合に、断片ファイルを一時的に コンピュータ内部のセキュリティが確保されている場所に保存し、設定した保存場所に アクセスが可能になった際、その保存場所に断片ファイルを移動します。尚、断片ファ イルが正しい保存場所に移動されるまでファイルを復元する事はできません。 【割符ファイル削除】は、断片ファイルの一つを削除した場合に表示されます。

7 ファイルの分割

分割方法

ファイルを実際に割符ファイルに分割します。分割後は、ショートカットが作成され元ファ イルは削除されますので、ご注意下さい。

- 「環境設定」の章で指定したフォルダに、分割したいファイルをドロップすると、自動 でそのファイルが「環境設定」の章で設定された設定に基づき分割されます。
- ② 断片ファイルは、[基本設定]タブで設定した保存場所に保存されます。
- ③ ファイルは分割され、作業フォルダ内は下図のようにショートカットが表示されます。
 サンプル資料.docx.20170309181154B.awhdoc

ファイルを分割する上で必要最低限の保存場所にアクセスできない場合(例:設定した ネットワークドライブにアクセスできない、USB がマシンに接続されていない等)フ ァイルは仮割符されます。仮割符とは設定した保存場所がアクセス不可の場合に断片フ ァイルを一時的にマシン内部のセキュリティが確保されている場所に保存し、設定した 保存場所にアクセスが可能になった際、その保存場所に改めて断片ファイルを移動する 機能です。

8 ファイルの復元

復元方法

Tally PLUS の環境設定 (対象設定)で指定したワーキングフォルダには、前節で述べたよう



にショートカットが作成されています。復元処理はこのショートカットをダブルクリックす ることで行います。復元処理には時間がかかる場合があります。

<復元処理の概要>

- 開きたい断片ファイルのショートカットをダブルクリックします。
- Tally PLUS が分割時に設定された保存場所から断片を収集します。
- Tally PLUS が断片データから元のデータに復元します。
- Windows へ復元されたデータを引き渡します。
- Windows は本データをあらかじめ関連付けられたアプリケーションで開きます。
 関連するアプリケーションが見つからない場合にはエラーになりますので、
 第2章の手順に従いアプリケーションの関連付けをし直して下さい。

ファイルの内容を編集後、上書き保存するとファイルは再度分割されます。もし、復元に必要なすべての断片ファイルが揃わない場合、下記のメッセージが表示されファイルを復元で きません。

情報		×
i	結合可能なファイル数が不足しています。	
	ОК	

復元先のディスクの容量が足りない場合、下記のメッセージが表示され、復元ができません。



Tally PLUS で秘密分散処理されたデータを他のユーザーでも共有したい場合、作成されたシ ョートカットを引き渡すことで可能となります。ただし、その場合には、第5章 環境設定 (セキュリティ)の[他の PC でも閲覧可能にする]を有効にして下さい。

9 ファイルのエクスポート

エクスポート方法

ファイルを他のコンピュータに送るため、そのファイルの断片ファイルを作成し、簡単に送 付できるようにしたのがエクスポート機能です。



- ① エクスポートしたいファイルを右クリックし[Tally PLUS エクスポート]をクリックし ます。
- ② エクスポート時の復元パスワードを設定し分割数を選択します。次に[OK]ボタンをクリ ックします。

パスワード		パスワード確認	
⑦ 音 2	03	0 4	0 5
	ОК	キャンセル	

③ 復元に必要なすべての断片ファイルが揃わない場合、下記のメッセージが表示されファ イルを復元できないため、エクスポートできません。

情報	×
1	エクスポート可能なファイル数が不足しています。
	OK

④ [エクスポートファイルリスト]ウィンドウが開きます。

サンブル.pptx		
サンプル.wexp1	サンプル.wexp2	
		閉じる

- ⑤ ウィンドウに表示されたエクスポートファイルをデスクトップ上、メールメッセージ上、
 USB ドライブ上、FTP ウィンドウ上等にドラッグアンドドロップします。尚、下図のファイルアイコンを一回クリックしてから、ドラッグアンドドロップして下さい。
- ⑥ [閉じる]ボタンをクリックします。

断片ファイルの一つをメールメッセージに添付したり、もう一つを USB に入れる等をして異なる手段で断片ファイルを送ると、より安全にデータを移送できます。



10 ファイルのインポート

インポート方法

エクスポートされたファイルを Tally PLUS に取り込みファイルを復元するインポート機能 について説明します。インポート後、ファイルは再度その端末にインストールされている Tally PLUS の分割設定にて分割されます。

- インポートしたファイルを入れるフォルダの空いている領域で右クリックし[インポート]をクリックします。
- ② [インポート]ウィンドウが開きます。

* ファイルを下のボックスにをドラッグ・アンド・ドロップして下さい。	+ -
エクスポート時に設定したパスワードを入力して下さい。	
OK キャンセル	

- ③ エクスポートされたファイルを[インポート]ウィンドウの指定の場所へドラッグアンドドロップするか、ウィンドウ右上にある[+]ボタンをクリックし、ファイルを選択します。インポートファイルが揃いますと[OK]ボタンが有効になります。
- ④ 復元パスワードを入力し[OK]ボタンをクリックします。ファイルがインポートされ再度 インポート元の設定で分割されます。



11 プロパティ

プロパティの閲覧

断片ファイルのプロパティでは、原本(元ファイル)のファイルハッシュや原本ファイルサ イズ、復元可否、断片ファイルのパス等、対象の断片ファイルの各種情報を参照できます。 断片ファイルを右クリックし[プロパティ]を選択します。

管理者モード

あるユーザーA が社内の共有サーバ上にある断片ファイルからファイルを復元し、ファイル の内容を編集している時に、他のユーザーB はファイルを更新できないようになっています。 このファイルロックの仕組みは一般的に排他制御と呼ばていれます。この排他制御により、 ファイルの整合性が保たれます。

ユーザーA がファイルを開いている時に、ユーザーB がファイルを復元しようとすると、下 記のメッセージが表示されます。この時、ファイルをビューアモードで開き、閲覧すること は可能ですが、編集して保存することはできません。



Tally PLUS では、ファイルが開かれると、排他制御ファイルが生成され、ファイルの排他制 御が有効になります。排他制御ファイルは割符毎に個別に生成され、排他制御ファイルが存 在している限り、ロック状態となります。もし、ユーザーA が編集作業完了後もファイルを 閉じていなかったり、仮にファイルを閉じても一つの断片ファイルへのアクセスが遮断され、 排他制御ファイルが削除できなかった場合、他のユーザーは永遠にそのファイルの編集更新 ができなくなります。これを避けるため、管理者が排他制御ファイルを強制的に削除し、他 のユーザーでもファイルを更新できるようにする機能が管理者モードです。

管理者モードは、断片ファイルのプロパティウィンドウで、右上の[管理者モード]ボタンを クリックします。管理者のユーザーとパスワードを入力する画面が表示され、入力後に[OK] をクリックします。



		_		×
			飲油まれ	-12
			官理有て	
管理者ユ−ザ−ID				
管理者パスワード				
		_		
ок	キャンセル			

ファイルが開いている場合、ウィンドウの左上に「排他制御ファイルが〇ヶ所あります。」と 表示されます。各断片ファイルの横に赤色のゴミ箱アイコンが表示され、残存した排他制御 ファイルは個別に削除できます。すべての排他制御ファイルを一度に削除するには、[一括削 除]ボタンをクリックします。削除完了後、ゴミ箱アイコンが消え、他のユーザーがファイル を更新できるようになります。

排他制御ファイルが存在している場合は、「排他制御ファイルが〇ヶ所あります。」等のメッ セージが表示されます。ファイルが開いていない場合、ウィンドウの左上に「排他制御ファ イルはありません」と表示されます。

排他制御ファイルは、ネットワークフォルダやオンラインストレージ上にのみ生成されます。 ローカル上には生成されません。

12 Tally PLUSのバージョン情報

現在インストールされている Tally PLUS のバージョン情報を表示します。

① タスクトレイの Tally PLUS アイコンを右クリックします。

8	*	(ig				
=		Q a				
•	×					
	^	1	d× A	U	9:52 2017/03/10	Ę

② [バージョン情報]をクリックします。

③ バージョン情報やソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。





13 断片ファイルの処理

仮割符の自動削除

仮割符されたファイルが正式に分割されると、仮割符で作成された断片ファイルは自動的に 削除されます。

ショートカットの削除

ユーザーがワーキングフォルダにあるショートカットを削除すると下記のメッセージが表示 されます。

割符ファイルを削除されました。他の場所に保存されている割符ファイルも削除しますか? (保存場所の状況により、削除出来ない場合があります。)				
	全てはい	はい	全ていいえ	いいえ

[はい]をクリックすると、保存先にある各断片ファイルを削除します。[いいえ]をクリックす ると、削除しなません。複数のファイルを選択し一括して各断片ファイルを削除したい場合 は[全てはい]をクリックします。一括削除をしない場合は[全ていいえ]をクリックします。キ ャンセルは×をクリックします。

14 Tally PLUSのバージョンアップ・削除

セットアップファイルを使用したバージョンアップ手順

Tally PLUS セットアップファイルを使用して Tally PLUS をバージョンアップするには、下 記の手順を行います。

 環境設定[セキュリティ]で、[電話認証をしない]を選択して利用されている方は、[電話 認証する]に変更してから、現在お使いのバージョンをアンインストールして下さい。 もし[電話認証しない]のままアップデートした場合には、アクティベートし直す必要が あります。



- 新しいバージョンの Tally PLUS のセットアップファイルを入手し、手元に置いておき ます。
- ③ 現在 Tally PLUS の画面を開いている場合は閉じて下さい。
- ④ Windows で、コントロールパネル等から、使用バージョンの Tally PLUS-S のアンイン ストールを行います。
 もしアンインストールせずに新バージョンをインストールしようとした場合、下記のエ ラーメッセージが表示され、インストールが停止されます。
 Windows インストーラー
 ※ 別のパージョンの製品が既にインストールされてい ます。このパージョンのインストールを続行できませ



- ⑤ アンインストール中に、「インストールを続行するには、次のアプリケーションを終了す る必要があります」という旨の画面が表示されることがあります。この場合、[セットア ップの完了後、アプリケーションを自動的に終了して、再起動する]を選択し[OK]ボタ ンをクリックします。アンインストール後は、コンピュータを再起動します。
- ⑥ ユーザーアカウント制御のポップアップが表示されることがあります。その場合、[はい]
 をクリックします。
- ⑦ 「関連設定ファイルを削除しますか?」というメッセージが表示されるので、[いいえ] を選択します。これにより、ユーザー情報、環境設定情報、ライセンスキーはそのまま 引き継がれます。ライセンスキーはアクティベーション解除しなくても構いません。設 定情報を含め完全に削除したい場合は[はい]を選択します。
- ⑧ アンインストールが完了します。
- ⑨ 新しいバージョンの Tally PLUS セットアップファイルを実行し、第3章の手順にて Tally PLUS をインストールします。インストール後、環境設定のし直しや再アクティベ ーションは不要です。

アップデータを使用したバージョンアップ手順

Tally PLUS アップデータを使用して Tally PLUS をバージョンアップするには、下記の手順



を行います。アップデータの実行ファイルはセットアップファイルと異なりますのでご注意 下さい。

- 環境設定[セキュリティ]で、[電話認証をしない]を選択して利用されている方は、[電話 認証する]に変更してから、現在お使いのバージョンをアンインストールして下さい。 もし[電話認証しない]のままアップデートした場合には、アクティベートし直す必要が あります。
- ② Tally PLUS の画面を開いている場合は閉じて下さい。
- ③ 新しいバージョンの Tally PLUS アップデータを実行します。
- ④ 現バージョン(バージョンアップ前のバージョン)と新バージョン(バージョンアップ後のバージョン)を確認し、[アップデート開始]ボタンをクリックします。
- ⑤ パージョンアップ処理中に下記メッセージが出力される場合があります。その場合には 再起動後に再度アップデートを実施して下さい。

情報	X
8	権限エラー:再起動してから再度実行して下さい。
	ОК

- ⑥ バージョンアップ処理が行われ、正常に完了すると「アップデートを完了しました。」というメッセージが表示されます。
- ⑦ [OK]ボタンを押すと、数秒後に Tally PLUS が再起動されます。Windows は再起動され ません。
- ⑧ Tally PLUS のバージョンアップが完了します。環境設定のし直しや再アクティベーションは不要です。なお、アップデータのウィンドウは自動では閉じません。右上の×ボタンを押して閉じて下さい。

セットアップファイルを使用してバージョンアップをせずに、アップデータを使用して Tally PLUS をバージョンアップすると、Windows のアンインストール画面のプログラム一覧に表 示される Tally PLUS のバージョンが、Tally PLUS プログラムのバージョンと一致しない場 合があります。例えば、Tally PLUS 1.2.0 をインストールした状態でも、下図に表示されてい るのが「1.1.0」となるケースがあります。



アップデータを使用しても、使用した「セットアッププログラム」のバージョンは変わりま せんので、これは正しい動作になります。この欄に表示されるバージョンは、セットアップ ファイルのバージョンになり、Tally PLUS のバージョンではありません。

プログラムを完全に削除する場合

「Tally PLUS 関連設定ファイルを削除しますか?」というメッセージが表示されるので、[はい]を選択します。Tally PLUS の削除を続行します。削除が完了したら、コンピュータを再起動します。

15 Tally PLUSの使用上の注意

- 設定を保存した時点で直ちにファイルが分割されます。
- コンピュータがスリープ状態になると復元されたファイルが削除され、復元前の断片ファイルの状態に戻ります。
- デスクトップ画面の右下のタスクトレイに Tally PLUS のアイコンがない場合には、コンピュータを再起動するか、インストールフォルダにある「AtWarihuPlus.exe」を起動します。
- ワーキングフォルダを設定すると、既にそのフォルダ内にあるファイルは自動的に分割 されてしまいます。既存のフォルダをワーキングフォルダに指定する際には十分にご注 意下さい。
- 登録した電話番号を変更する場合は、購入先までご連絡下さい。
- Tally PLUS のショートカットのバックアップや環境設定等のバックアップは、必ずユー ザー様の責任において行って下さい。弊社ではこの責任は負いません。
- 断片ファイルの保存先としてモバイル機器や USB をハブ経由で使用する場合は、外部 電源型 USB ハブを使用する事をお勧めします。外部電源の無い USB ハブは電力が不足 する可能性があるため、正しくデバイスを認識できない場合があります。